

第19回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会 会議録

日時：令和5年1月16日(火)19:00～20:00

場所：多治見市立笠原中学校 会議室

【出席者】

委員：長江委員、鈴木委員、近藤委員、稲葉委員、森本委員、前田委員、
水野(豊)委員、加知委員、加藤(智)委員、杉村委員、東山委員
事務局：教育長、副教育長
教育推進課 丹羽、南谷、加納(裕)
教育総務課 市川、高田、瀨瀬
教育研究所 久野
教育相談室 古川

【欠席者】

委員：加藤(裕)委員
事務局：中島、福岡

(要点筆記)

開会	
会長	・第19回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を開会します。
次第1	教育長挨拶
教育長	・本日はお忙しい中第19回目の研究会にお越しいただき誠にありがとうございます。能登半島の地震が元旦にあり、改めて地域の中で学校の大切さがわかり始めてきています。耐震性を備えるのはもちろん、災害が起きた際には避難所として学校を使用することもあります。笠原小中学校はきちんとした耐震構造を持った建物を作っていき、建設の途中も含めて皆様に見ていただく機会を作れたらと思います。もうひとつのお話として、現在多治見市にとって大変な状況となっているのは子どもの数です。現在小中学校の1学年の平均は約800人台です。ただ、この一年で生まれた多治見の子どもの数は500人を少し超えたぐらいです。全国的な傾向でもありますが、急激にここ数年で子どもの数は少なくなっています。これは市全体で考えることでもありますが、教育委員会としては魅力ある学校教育を少しでも作り上げていき、多治見で子育てをしてみようという方々を少しでも増やしていこうと決意を新たにしたいところでございます。その個性ある教育の一つが笠原小中学校でもありますので、今後の議論で様々なことが決まっていくと思いますが、少しでも地域に根付いた、あるいは外部の方から見ても魅力ある学校、そのような学校を作りたいと思います。そのため、本日も活発な議論のほどよろしくお願いいたします。

次第 2 笠原小中学校校章について	
会長	・ 次第 2 「笠原小中学校校章」について事務局に説明を求めます。 (次第 2 (1) (2) 事務局より説明)
会長	・ 只今の報告について、意見・質問等はありませんか。
委員	・ 中学校の制服用の校章バッチを作成する予定はありますか。
事務局	・ 制服等と同様にスタイルが決まってから検討していきたいと思いま す。
委員	・ 校章のデザインに開校年度が入ったものがありますが、例えば 「since2026」のようにしないと数字の意味が分からないのではないかと 思います。
委員	・ C に関しては開校年度の2026という数字が20と26で離れたデザインと なっているのであまり良くないかなと思います。
委員	・ 開始年度はどうしても入れなければいけないのでしょうか。どうして も入れるというのであれば「since」等の表記は必要かなと思います
委員	・ 現在の校章にも開校年はデザインにないので開始年度は必要ないかな と思います。
委員	・ いつから開校になったかわかるので、意見で出ているように「since」 等の表記があれば、デザインとして2026と入っていても良いかなと思い ます。
事務局	・ C の案がアンケートの選択肢に入る場合「20」と「26」と離れた表記 になっているのは分かりづらいということでその意見を踏まえたデザイ ンとします。その他のデザイン案に開校年度の記載をするかについて は、全体的なデザインも含めて検討していきたいと思います。
事務局	・ 続いてですが、A、B、C、Dの中から3つを選び、アンケートの対 象とします。1つ除くデザイン案を選んでいただきたいです。
会長	・ それでは多数決で除くものを決定したいと思います。 (多数決)
会長	・ 多数決の結果、C の案を除くということで決定したいと思います。
事務局	・ A、B、D でアンケートを取らせていただきます。
事務局	続いて 次第 2 (3) の今後のスケジュールについて説明させていただきます。 (次第 2 (3) 事務局より説明)
会長	・ 只今の報告について、意見・質問等はありませんか。 ・ 校章のデザイン案を他の笠原町内の方に見せてもよろしいでしょ うか。
教育長	・ アンケート対象者は提案しているとおり、小中学生の予定です。お子 さんのいらっしゃる家庭では、家族で議論していただきたいですし、秘 密裏に行うものではないので、それ以外の方にも見せていただいてもち ろんかまいません。ただ、アンケートは小中学生を対象として実施する

委員	ということはご理解いただきたいです。 ・地域の方々も笠原小中学校のことについて気にしている方もいるので、アンケートについても情報発信させていただきます。
----	---

次第3 笠原小学校校舎おわかれ会について

会長	・次第3「笠原小学校校舎おわかれ会」について事務局に説明を求めます。
会長	(事務局より説明)
委員	・只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
事務局	・これまでも他の学校でこういった会は行われたのですか。
委員	・以前滝呂小では旧校舎のお別れ会がありました。
事務局	・どれほど来るかはわかりませんが、参加者がたくさんいる場合は交通整理が必要となるのかなと思います。お知らせ、PR次第では笠原在住の方だけでなく出身者の方もたくさん来るかもしれません。
委員	・地域の方から、同窓会もやりたいというお話も聞いています。6日に人が集中してしまうようであれば日程を分けることも考えられます。ただ工事日程の都合等もあるので、人が集中したとしても6、7日の開催とさせていただこうと考えております。
委員	・こういったことをやっていただけることはありがたいので、是非よろしくお願いします。

次第4 その他について

会長	・次第4「その他」について事務局に説明を求めます。
会長	・全体で何か質問はございますか。
委員	・子ども園の情報も研究会でもっと多く情報提供していただきたいです。
教育長	・かしこまりました。次回情報提供できるようにさせていただきますし、タイミングがいつになるか明言はできませんが、広報等で子ども園についても記事にするように子ども支援課・秘書広報課にも伝えておきます。
	次回開催：令和6年1月15日～1月19日のどこか。 (決定後事務局より連絡)

副教育長挨拶

会長	・最後に、副教育長よりご挨拶を願います。
副教育長	・皆様本日はありがとうございました。前回の研究会で進捗状況をもっと発信したほうがよいとご意見がありました。ハード面やソフト面につ

	いて、この研究会と教育委員会の連名で通信のような物を作成し、今回の内容も含めてお子さんのいる家庭だけでなく、笠原地域の方に広く発信していこうと考えております。概ね研究会後に合わせるくらいのタイミングで何号か出せたらと思います。校章や子ども園のこと等をなるべく情報発信していきたいと思います。そのような中で委員のみなさまにご意見届きましたら、研究会で報告いただけたらと思います。市の広報の3月号で笠原幼保小中の特集号を組む作業に取り掛かっております。市としてもアピールしているということをご理解ください。それとお別れ会については地域の思い出に残るような会にできるよう事務局でも検討したいと思います。改めて本日はありがとうございました。
--	---

閉会	
会長	・以上で、第19回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を閉会します。

—以上—